

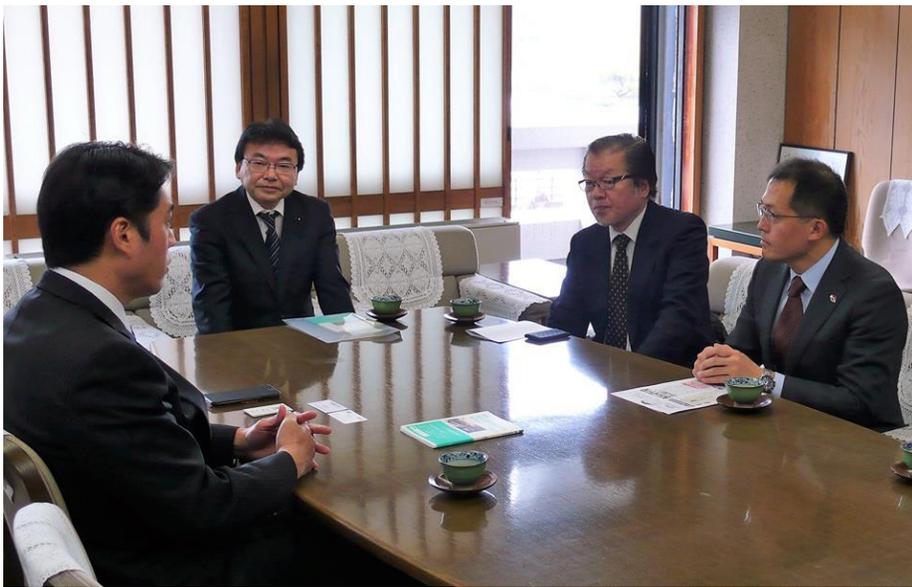


ノーベル平和賞 川崎さん知事と面談

●3月5日、ノーベル平和賞を受けたICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の川崎哲国際運営委員（NGOピースボート共同代表）と尾崎正直高知県知事が面談！キニ水爆被災国家賠償訴訟原告「ひめ丸」元船員の増本和馬さん、高知県出版文化賞を受けた「ビキニ核被災ノート」編集委員長で平和資料館・草の家

副館長の岡村啓佐さん、そして、面談を呼び掛けた私も同席しました。ICAN側が、ノーベル平和賞受賞後に都道府県知事と面談するのは初めて。知事は昨年12月議会でわが党の質問に「核兵器禁止条約制定をめぐる一連の取り組みや、ICANのノーベル平和賞の受賞を契機として、日本国民の間にも被ばく者の存在とその方々への支援の必要性が再認識されたことは、元船員の方々にとっても大変心強く意義深いものと考えます」とICANを評価する答弁をしていました。

●川崎さんは、「核兵器は非人道兵器」と、広島や長崎の被爆者や世界中の核実験被害者が声を上げてきた力で、核兵器禁止条約は採択された。すべての国が批准するよう市民と声を上げてほしい」「ビキニ被曝の状況解明と救済を進めてほしい。高知がイニシアチブをとれば、国際的に波及効果がある」と述べ、尾崎知事が「ビキニ事件被害者に対しては、寄り添う姿勢でしっかりと対応していきます」と応じて、意義ある面談となりました。



●3・11東日本大震災から7年

高知集会に参加
深呼吸ができる
水が飲める
畑の野菜が食べられる
土にさわられる
魚や貝が食べられる
風に吹かれ自由に遊べる…
当たり前と思ってた
そんな日々の暮らしを
もう二度と奪わせないため
決って忘れず
全ての原発廃棄を！と
声をあげ続けましょう

●森友文書改ざん許さじ

安倍はすぐ辞める！！

3月12日、高知県庁前電車通りでの昼休み緊急抗議集会に参加。

決裁文書に手を加える

権力者に都合よく改ざんする

そんな者が優遇されて 出せできるお役所

こんなことを まかり通させた元凶に

●カラリンにゃんでも通信



メスを入れる
力は
それはひとり
一人の国民の
声
それ以外には
ない
安倍内閣打倒

